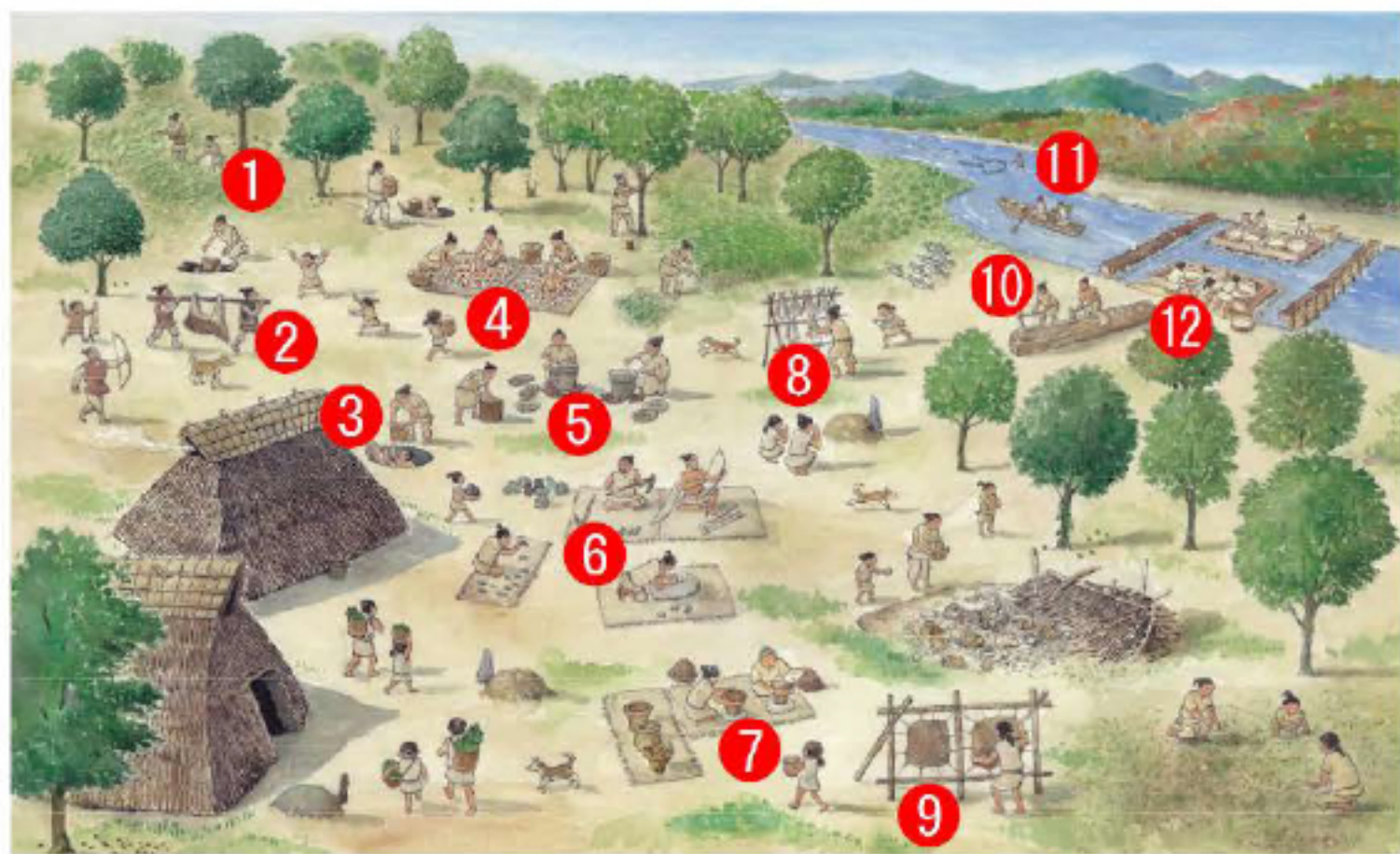


2

豊かな自然と 縄文文化

縄文時代の人々はどのような暮らしと文化を築いていたのだろうか。

みんな何をしているのかな。



- ← ① 縄文時代の生活のようす (想像図)
- ① 植物を栽培する人 ② 狩りから帰ってきた人と犬 ③ 木の実を貯蔵する人
 ④ 木の実を干す人 ⑤ 土器で煮炊きする人
 ⑥ 斧や弓矢をつくる人 ⑦ 土器をつくる人
 ⑧ 魚を干す人 ⑨ 動物の皮を加工する人
 ⑩ 丸木舟をつくる人 ⑪ 漁をする人
 ⑫ 木の実のあくを取る人

20~21-1

20~21-2

縄文時代の 始まり

今から約1万5000年前，人々は，食物を煮炊きしたり保存したりす

るための土器をつくり始めました。これらの土器は，その表面に縄目の模様（文様）がつけられることが多かったため，のちに縄文土器（←口絵p.1）とよばれることになります。縄文土器は，北海道から沖縄まで日本列島全体から出土しています。これは世界で最古の土器の一つで，縄文土器と磨製石器（→p.26）が使用されていた約1万5000年前から紀元前4世紀ごろまでを縄文時代（①）とよび，このころの文化を縄文文化といいます。

- ① 縄文時代の終わりを紀元前10世紀ごろとする説もある。



② 矢じり 弓矢は縄文時代につくられ始めた狩猟の道具である。矢じりは，矢の先に取りつけた石器。（新潟県阿賀町小瀬ヶ沢洞窟出土 長岡市教育委員会蔵）



③ 縄文土器 かたい木の実などを食料とするには煮炊きの調理が必要で，土器もそのためにつくられたと考えられている。（新潟県阿賀町室谷洞窟出土 長岡市教育委員会蔵）

日本列島の豊かな自然と暮らし

^{ひょうが}氷河時代が終わった日本列島は、気候の温暖な温帯に属し、

周囲には暖流と寒流が流れていました。クリ、ナラ、ブナなどの温帯の樹木が国土をおおい、トチやドングリなどの木の実やイモなどにめぐまれていました。また、サケ、川や海にはマス、タイ、カレイ、アジなどの魚や貝類、陸にはイノシシ、シカ、ウサギなどの動物も生息していました。

このように日本列島は、豊かな自然環境^{かんきょう}にめぐまれ、食料となる動植物が豊富^{ふじゅう}だったため、植物は栽培^{さいばい}され、犬が飼育^{しいく}されていましたが、大規模な農耕^{だいきぼ}や牧畜^{ぼくちく}(→p.26)はまだ始まっていませんでした。

20~21-5

縄文時代の人々は、川や湖、海の近くに数十人程度の集団で暮ら^くしていました。住まいは、地面に掘^ほった穴に柱を立て、草ぶきの屋根をかけた^{たてあな}竪穴住居(→p.23)でした。人々が、骨や貝殻^{かいがら}など、食べ物の残りを捨てたごみ捨て場は貝塚^{かいづか}とよばれ、そこから出土する土器や石器などからは、当時の人々の生活のようすがうかがえます。

^{あおもり}青森県の^{さんないまるやま いせき}三内丸山遺跡からは、約5000年前の巨大な集落跡^{きよだい}が発見され、大型の竪穴住居跡や掘立^{ほったてばしら}柱建物跡、さらには遠くはなれた地域との交易^{ちいき}で手に入れたヒスイや黒曜石^{こくようせき}などが見つかりました(→p.25)。また、この時代の遺跡からは、土偶^{どぐう}(←口絵p.1)とよばれる人形^{ひとがた}が見つかりついています。土偶は、豊かな自然の

20~21-6

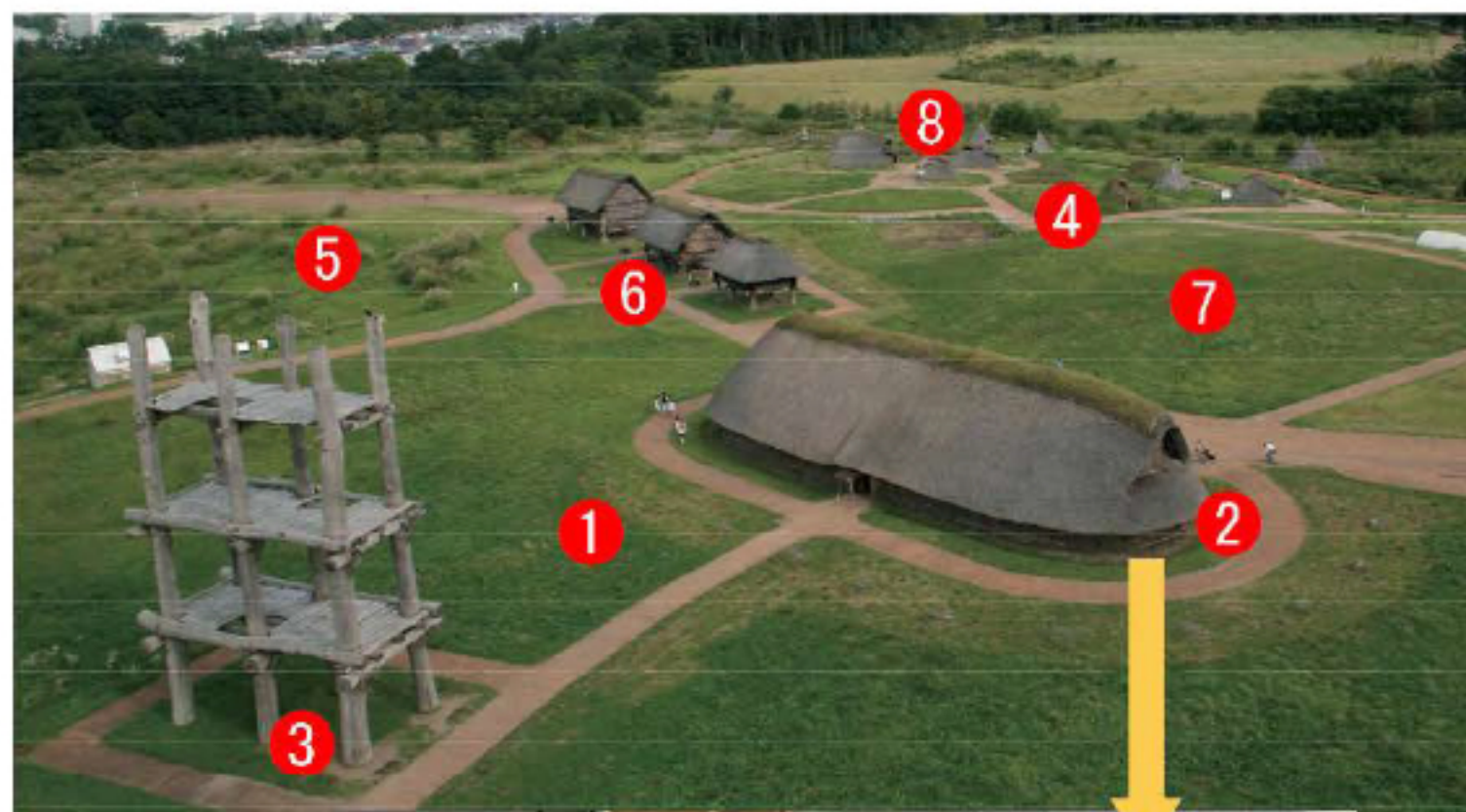
めぐみなどを^{いの}祈るためにつくられたと考えられています。

縄文時代の人々の生活は、^{ぎよ}魚介類をとったり、^{しゅりょう}狩猟や^{さいしゅう}採集を中心とするものでしたが、クリの木などを管理し、アサやヒエなども栽培していました。また、^{ひもの}干物や^{しおづ}塩漬けなどの保存食や、木の実を原料とした酒をつくる技術ももっていました。こうした食料をたくわえる技術の向上は、人々の定住とムラの発達をうながしました。

人々が豊かな自然と調和して暮らし、1万年以上続いた縄文時代は、その後の日本文化の^{きばん}基盤をつくりました。そして、縄文時代の人々と、その後、大陸からやってきた人々が交じり合い、しだいに共通の言葉や文化をもつ日本人が形づくら

れていきました。

さんないまるやま いせき あおもり
④ 三内丸山遺跡 (青森県青森市)



↑ ⑤ 大型竪穴住居の復元模型 想像される当時のムラのようなすが、再現されている。(国立歴史民俗博物館蔵)

① 広場 ② 大型竪穴住居 (復元) : 長さ32m, 幅9m ③ 大型掘立柱建物 (復元) : 高さ14.7m, 柱には直径1mのクリの巨木が使われていた ④ 竪穴住居 (復元) : 家として使われた建物 ⑤ 墓 : 道路をはさむ両側に並んでいた ⑥ 高床建物 (復元) : 食料などの倉庫として使われた ⑦ 盛り土 : ごみ捨て場 ⑧ クリ林 : クリの実は重要な食料で, 樹木は建材に使われた



↑ 6 貝塚 (東京都 大森貝塚)

→ p.176) 貝塚は本州の太平洋沿岸，九州の有明海沿岸に多く存在する。



← 7 土偶 人形の土製品

品。自然とともに生きた縄文時代の人々の精霊を形にしたものと考えられている。(高さ34.2cm 青森県 亀ヶ岡遺跡出土 東京国立博物館蔵)

20~21-10



縄文時代の人々はどのような住居に住み，どんな道具を使い，何を食べていたのかノートにまとめましょう。

20~21-11